

世界は、 核兵器なき未来へ 扉を開いた。

日本こそ、核兵器禁止条約へ参加を。

人類史上初めて核兵器を違法とする核兵器禁止条約が
2020年10月24日、批准国50か国に達し、
2021年1月22日に発効となりました。

しかし、日本政府は唯一の戦争被爆国であるにもかかわらず、
この条約に背を向け続けています。

日本がこの条約に参加することは、被爆国としての責務であり、
核兵器廃絶を願う世界の人々へのはげましになります。

世界はすでに「核兵器のない未来」に向かって
歩み始めているのです。

日本は
核兵器禁止条約に
参加すべきか？

参加すべき

72%

「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」にご協力をお願いします。

内閣総理大臣 殿

唯一の戦争被爆国 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

いま世界では、核兵器禁止条約の発効から核兵器廃絶へとすすもう、という声広がっています。多くの国ぐにが被爆者の声に耳を傾け、「核兵器による安全」ではなく、「核兵器のない世界による安全」を選択し、核兵器禁止条約を支持し、参加しつづけます。

唯一の戦争被爆国である日本政府は、核兵器廃絶の先頭に立たなければなりません。

国内の世論調査でも、日本が核兵器禁止条約に参加すべきとの声は7割を超えています。日本政府がこの被爆者と国民の声に誠実に応えることを訴えます。

私は、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めます。

名 前	住 所	募 金

この署名は、2020年10月29日、被爆者をはじめ各界・各層の代表126氏のおよびかけによりスタートしました。日本政府に提出します。ご記入いただいた個人情報は、この要請目的以外には使用しません。

【取扱団体】

連絡先：署名事務局（原水爆禁止日本協議会）
〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4
電話：03-5842-6031